

本田消防団だより 第69号



ひのみやぐら



葛飾区消防団合同点検

令和7年9月21日（日）都立水元公園に於いて葛飾区消防団合同点検が行われました。



この点検は消防団員としての規律、節度、連帯感及び部隊行動の習熟度を確認するものです。

消防操練では、指揮者第2分団森田分団長以下32名が見事な訓練成果を発揮し感嘆の声とともに盛大な拍手を受けました。

その後、東京直下

を震源とする大地震を想定した消防活動訓練では、情報収集、倒壊建物からの救出、救護活動と実践さながらの消防活動を実施。消防署、町会、消防少年団等との連携による各種訓練が行われました。

最後は本田、金町両消防団による一斉放水が行われ終了しました。

（団本部）



消防操練に参加した団員の声

第2分団 分団長 森田 茂

「消防操練指揮者を体験して」

それは、大変な不安から始まりました。訓練初日の停止間動作において選手達の多くがほとんど出来ていなかった事、次に訓練日数が通常よりも2日も少なくなつたことです。他にも消防操練が新しいやり方に変更になったことなどです。雨にも祟られました。

しかし、選手の方々に感動させられました。個々の選手達の努力です。訓練のない日には、鏡の前で姿勢のチェックやeラーニングでの勉強を長時間かけてやっていたそうです。

訓練では、私も含めて上手くいかない事が多々ありました。

そんな中、いざ本番では選手達も驚くような消防操練を披露する事が出来ました。すばらしいチームの指揮者であつた事を誇りに思います。

最後に、選手の皆さん、指導して頂いた皆さん、心よりありがとうございます。

第14分団 団員 櫻井 仁美

「初めての消防操練」

令和7年7月に入団して、一番初めての活動が消防操練でした。

初日の訓練では、団本部の方々に何度もご指導をいただきましたが、基本の動作も全く出来ず、悔しい気持ちで帰宅したのを覚えています。

その翌日からは、eラーニングを見ながら自宅で練習を始めました。2回目の訓練では、「家で練習してきたんだね。前回よりずっとできてるよ」と褒めていただき、それが大きな自信に繋がりました。

本番では、前列だったこともあり非常に緊張しましたが、何度も練習した「左向けー左」の動作をしつかりと行うことができ、安堵致しました。

無事に消防操練を終えたあとには、多くの方から「今までで一番良かったよ」と声をかけていただき、ここまでの努力が報われた気がして、感動のあまり涙がこぼれました。本当に貴重な経験となりました。

最後に、毎回の訓練に立ち会い、丁寧に指導くださった団本部並びに消防署の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後も活動を通して経験を積み、より多くの知識や技術を身につけていきたいと思っています。



第53回

東京都消防操法大会

本田消防団を代表して

第12分団が健闘！

令和7年10月18日（土）東京消防庁消防学校にて「第53回東京都消防操法大会」が開催されました。本大会には、本田消防団の操法大会で優勝した第12分団が、第7方面の代表として出場しました。選手一人ひとりが日頃の厳しい訓練の成果を存分に発揮して、堂々たる操法を披露し優良賞を獲得しました。

長期にわたる訓練期間中には、本田消防団全団員による力強いサポート、消防署の皆様からの熱心なご指導、そして地域の皆様からの温かいご理解とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

（団本部）



出場した選手の声

指揮者 増田 寿

「この隊の操法を誇りに」

本団・署の方々、遠方から支援に駆けつけて下さった初めてお会いする方も多かった支援分団の皆さん、そして毎回仕事家事を調整して駆けつけてくれた自己分団の支援メンバーの力で我々の操法を積み上げる事ができました。

人の支えなしにできることなど何一つ無かったと、感謝の思いでいっぱいです。



長い練習を共にしたメンバーとの日々と操法を誇りに、再び地域防災に地道に尽力して参ります。

1番員 前田 真吾

「目標地点へ」

消防学校で操法実施を目標にしていました。
訓練をする理由は、人々の不幸や災いなど誰かの犠牲を少しでも無くし



たいと思いがあ
るからです。

家族が交通事
故に遭遇した経
験から『災害発
生時、何か手助
けが出来る人間
になりたい』と
決心しています。

大会を終えた
後、消防の意義
や自身の活動動機と再会したような
気持ちとなり嬉しかったです。
新たな目標を胸に、本田消防団の仲
間と災害に備えていけるよう努めて
まいります。

2番員 吉田 友哉

「この隊を誇りに」

憧れ続けた都大会の舞台に立たせて
いただき感謝申し上げます。

灼熱の稽古場の景色は薄れていく
のに、都大会に挑んだ記憶に触れると、
まだどこか痛みます。限界に挑み続け
た日々の輪郭が霞んでいく中、目標に
届かなかったからこそ得たはずの何
かだけは見失いたくないのに、その核
心にはいまだ手が届きません。

確かなのは、この隊の操法が心を突
き動かしたことです。

この隊の操法は誇りでした。この仲間
と成し得た私はこの時、間違いなく
報われました。

3番員 遠見 直紀

「消防操法の奥深さ」

様々なご支援をいただき、都大会に
向けて十分な準備をすることができ
ました。感謝致します。

日々の練習の中で改善点を見つけ
ながら取り組み、改めて操法の奥深さ
を感じ、またチームワークが非常に重
要だと痛感致しました。

今回得た学びは、今後の消防団活動
で生かし、よりよい地域防災を目指し
ていきます。

4番員 茂木 年男

「呼吸を合わせ」

東京都操法大会に4番員として出
場し、緊張感の中でこれまでの訓練の
成果を発揮できました。



4番員は動作
の正確さと速さ
が求められ、一つ
のミスが全体に
影響するため常
に集中。仲間と呼
吸を合わせ動き
が揃った瞬間に
大きな達成感を
得ました。

今回の経験を今後の後進の指導に
活かしていきたいと思っています。

補助員 栗山 寿敬

「立派な結果」

今回は補助員を担当しました。都大会当日は仕事の忙しい中、時間を割いて一生懸命に練習に挑んだ選手への応援に吸管保持をしながら思わず頑張れと声をあげて応援をしていました。

結果8位でしたが立派な東京都8位に胸を張れるものと思っております。

最後に都大会までに選手を支えてくれた消防署・団本部・他分団・第12分団の皆様本当にありがとうございました。深くお礼申し上げます。



訓練風景



—令和6年夏 実践的消防活動訓練に励む消防団員たち—

火災対応訓練に参加して

令和7年11月1日(土)、奥戸出張所にて実施された火災対応訓練に参加しました。

各分団から2名参加し、4班に分かれ、更に積載車乗車員4名と後着4名に担当分けをして行われました。私は積載車乗車員の担当でした。

消防署の方、他分団の方との訓練に参加する事、そして予備放水から撤収まで担当する事が初めてなので、失敗したり足を引っ張らないようにしなければと、そればかり考えていました。しかし、それは間違いであったと気付かされました。最も重要なのは『安全第一』であり、危険要因の理解と対



積載車が主流になった現在、今回の訓練は非常に勉強になりました。目視が困難な場合の無線の活用などはとても参考になりました。消防活動での

消火活動での役割分担

策なのです。火災対応で出動し、団員の不注意で事故を起こすなど絶対にあってはならず、それを防ぐ為に訓練を重ねなければなりません。特に声出し確認は、慣れにより重大な事故を引き起こしてしまう危険を回避するために大切な事だと思いました。

今後、共助のリーダーとして活動する上で最も大切な事を学べました。知識

経験の有無は関係なく、全員が参加するべき有意義な訓練なので、是非とも定期的に実施していただきたいです。ご指導ありがとうございました。

(第6分団 団員 渡辺 里織)



総合震災消防訓練

役割分担は不可欠だと思いますが、実際の出動時に役割が決まっている団員が出動出来る訳では無いので、全てのポジションを全団員が対応出来るように伝達指導していきたいと思いました。

(第3分団 副分団長 阿久根 正幸)



達訓練、東立石緑地公園にて市街地における大規模災害が発生したことを想定した遠距離放水訓練を実施しました。

(団本部)

令和7年11月29日(土)の早朝「東京消防庁管内に震度7を観測する地震が発生し本田消防署管轄区域に甚大な被害が発生した」との想定に基づき、団本部、分団本部、設営訓練、MCA無線及びタブレット端末を活用した情報伝

令和7年度 東京都功労者表彰

本田消防団第3分団分団長の神野武久様が今年度の東京都功労者表彰を受賞されました。

東京都功労者表彰は、東京都の発展や都民生活の向上に著しい功績があった個人や団体を称え、表彰する制度です。13分野（地域活動、福祉・医療・衛生、教育、産業振興、技術振興など）で、模範となる功績や永年の貢献が認められた方が表彰されるものです。おめでとうございます。



令和7年度 東京都消防褒賞

東京都消防褒賞とは地域住民の生命・財産の安全確保に従事している消防団及び消防団員の功績を称えることを目的としており、今年度で44回目です。

永年にわたり地域住民の生命・身体・財産の安全確保にご尽力された功績が認められ、4名の方々が受賞されました。おめでとうございます。

- 第14分団 分団長 吉田 道子
- 第4分団 副分団長 伊藤 嘉里
- 第6分団 副分団長 佐藤 裕介
- 第15分団 副分団長 佐藤 信一



オータムフェスタの お手伝いに参加

9月23日(日)、晴れ渡った爽やかな秋分の日に京成ドライブイングスクールのオータムフェスタが開催されました。これは毎年、秋に開催される京成グループのお客様に感謝するイベントの一環です。

このイベントには地元警察署、消防署、自衛隊、京成グループのバス・タクシーなど、車の展示や乗車体験や写真撮影会などが行われます。キッチンカーもよりどりどりで。

私たち消防団は第11分団と第12分団がお手伝い。子供連れの親子を呼び止めては子供に消防の服を着てもらい、笑顔の写真を撮り大喜びです。御土産も大好評です。一番人気は消防はしご車です。地上25メートルまであがると子供も親も大はしゃぎ。大勢の長い列ができます。子供たちは怖さもありますが、地上からの高さで目を見張り感動するようです。また来年もお手伝いしたいと思っています。

(第11分団 班長 野上 純子)

消防団員募集活動

11月15日(土) 11月16日(日) 新小岩公園にて開催された『かつしかフードフェスタ』にて消防団員募集活動を行いました。

当日は多数の方々にご来

場いただき、会場は大変賑わっていました。



手に笑顔があふれていました。

この2日間、とても好感度の高い募集活動となりました。



消防団員募集中です。

(本田消防団募集委員会)

消防団員募集



入団資格

18歳以上の健康な方

消防団の区域に居住・勤務・通学している方



<https://tokyo23city-sobodan.jp/>

東京消防団

詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。